

2 企画展等展示

◎博物館本館

収蔵品展(島田信用金庫共同展)

「浮世絵に描かれた大井川の川越し」

開催期間 平成31年4月6日(土)～令和元年5月26日(日)

江戸時代、大井川は東海道の難所として知られていました。その一方で四季折々の景観や旅の風俗は浮世絵や屏風絵などの題材となりました。今回の展示会では、館蔵品の中から島田宿・金谷宿と大井川の川越しを描いた浮世絵や屏風を中心に展示しました。

また、90周年を迎えた島田信用金庫所蔵の浮世絵も併せて展示しました。

主な展示資料

資料名	年代	所蔵者
歌川広重「東海道川尽 大井川の図」	江戸時代	島田市博物館蔵
歌川国貞「関取道中大井川川越之図」	江戸時代	島田市博物館蔵
落合芳幾「光氏大井川遊覧の図」	江戸時代	島田市博物館蔵
歌川豊国「大井川渡しの図」	江戸時代	島田市博物館蔵
葛飾北斎「富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二」	江戸時代	島田信用金庫蔵
喜多川歌麿「美人島田八景」	江戸時代	島田信用金庫蔵
豊原国周「大井川徒行渡図」	江戸時代	島田信用金庫蔵

開館日数 45日 観覧者数 4,655人(103人/日)

関連行事

こどもの日の集い(観覧無料)

日時: 5月5日(日・祝)

昭和のモーターショー

日時: 4月29日(月・祝) 午前10時～午後2時

イベント「浮世絵風版画を摺ってみよう！」

講師: 山口拓海氏(静岡市東海道広重美術館 学芸員)

日時: 4月20日(土) 午後1時30分～2時30分

ギャラリートーク「大井川の川越し よもやま話」

講師: 朝比奈太郎(島田市博物館 主任学芸員)

日時: 4月27日(土) 午後2時～2時30分

第 78 回企画展「漆工芸家 関野晃平と伊久美の空」
開催期間 令和元年 6 月 1 日(土) ～ 7 月 7 日(日)

関野晃平は神奈川県出身で、木・漆工芸家 黒田辰秋の下で修業し、独立後は名声を求める事もなく、「作品だけを見てもらいたい」という強い思いを胸に制作活動に励みました。後年は島田市伊久美地区に居を構え、四季折々の景観に親しみながら、自然体のまま作品と向き合い続けました。

関野晃平が制作した鉢、重箱、小箱などの作品の他、制作道具も展示しました。

主な展示資料

資料名	制作年	所蔵者
榎拭漆十字花深鉢	1988 年	日本民藝館
榎拭漆大手箱	1990 年	世田谷美術館
栓梅花盛器	1995 年	個人
栃拭漆楕円銘々皿	2011 年	個人
黒漆螺鈿太縞筆筒	2011 年	個人
黒漆螺鈿唐草文重箱	1995 年	個人
朱漆螺鈿散華帯文重箱	2004 年	個人
白沃地小箱	2011 年	個人
黒漆螺鈿石目総貼長手箱	2000 年	日本民藝館

開館日数 32 日 観覧者数 1,521 人(48 人/日)

関連行事

ワークショップ「らでん風小物を作ろう」

講師：吉田均氏（島田市博物館嘱託員）

展示解説：増田亜矢乃（島田市博物館学芸員）

日時：6 月 15 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

収蔵品展「郷土の焼物 志戸呂焼」
開催期間 令和元年 7月20日(土)～9月8日(日)

収蔵品の中から、江戸時代初期から明治期以降に焼かれた志戸呂焼の茶碗、水指、茶入れなど茶器を中心に四耳壺、徳利、茶碗、酒杯、小鉢などの名品を展示しました。

主な展示資料

資料名	年代	所蔵者
茶碗 銘「阿弥陀」	18世紀	島田市博物館
瓢箪水指	18世紀後半頃	島田市博物館
桃形碗煎茶具	18世紀	島田市博物館
双耳茶入	18世紀	島田市博物館
酒杯「志戸呂」印	19世紀	島田市博物館
瓢型徳利	19世紀	島田市博物館
徳利「志戸呂」印	18世紀	島田市博物館
四耳壺	17世紀前半	島田市博物館
三耳壺	17世紀後半	島田市博物館
大壺「明治十七年製 鈴木兼四郎」刻有	19世紀	島田市博物館

開館日数 44日 観覧者数 2,461人(56人/日)

関連行事

ワークショップ「志戸呂焼陶芸教室」

講師：丸山成己氏（陶芸家）

日時：8月1日（木）・2日（金）

午前9時～11時・午後1時30分～3時30分



桃形碗煎茶具（18世紀）

第 79 回企画展「音にきこゆる Vol.4 島田の刀鍛冶とそのルーツ」

開催期間 令和元年 9 月 21 日(土)～12 月 1 日(日)

島田鍛冶は、静岡県内の刀鍛冶の中では最も繁栄した集団であり、戦国時代には今川氏、武田氏、北条氏にも刀剣を供給していました。

今回の展示会では、儀助・助宗・広助に代表される島田の刀鍛冶の刀と共に、相州伝・備前伝・美濃伝など島田の刀鍛冶が影響を受けたとされる刀剣、刀装具、御手杵レプリカなどを展示しました。

主な展示資料

資料名	年代	所蔵者
短刀 銘 嶋田住清兵衛義助 永禄二年二月日	永禄 2 (1559) 年	個人蔵
槍 銘 義助	室町時代	個人蔵
槍 銘 高天神 兼明	室町時代	掛川市立大東図書館蔵
短刀 銘 八月廿四日 義助 元亀二年辛未	元亀 2 (1571) 年	島田市博物館蔵
刀 銘 助宗	室町時代	島田市博物館蔵
短刀 (朱銘) 左国弘	南北朝時代	個人蔵
脇差 銘 出羽大掾国路	江戸時代	個人蔵
刀 銘 濃州住田代角兵衛兼信作	江戸時代	個人蔵
太刀 銘 備前国長船住左馬允真守	鎌倉時代	個人蔵
脇差 銘 九州肥後同田貫 兵部	室町時代	個人蔵

開館日数 61 日 観覧者数 3,962 人(65 人/日)

関連行事

体験会「名刀写しを持ってみよう」

講師：萩光明氏 (刀剣研師・美術刀剣研磨師)

日時：9 月 21 日 (土)・11 月 9 日 (土)

午後 1 時 30 分～2 時 30 分・午後 3 時～4 時

ギャラリートーク

講師：岡村龍男 (島田市博物館学芸員)

日時：9 月 22 日 (日) 午前 11 時～11 時 30 分・午後 2 時～2 時 30 分

講師：岡村龍男 (島田市博物館学芸員)

萩光明氏 (刀剣研師・美術刀剣研磨師)

武将隊 TOKYO 徳川家康公 (俳優：石上亮氏)

日時：12 月 1 日 (日) 午前 11 時～11 時 30 分・午後 2 時～2 時 30 分

特別トークセッション「島田鍛冶義助と御手杵」

日 時：9月29日（日）午後1時30分～3時

講 師：^{ごじょうみつよし}五條満義氏（島田鍛冶義助末孫忠義家当主）

塚本昭一氏（御手杵顕彰会会長）

名刀鑑賞会

日 時：11月23日（土・祝）午前10時30分～正午

講 師：日本美術刀剣保存協会静岡県支部役員 鉄芸

刀匠たちによる実演と体験

日 時：11月23日（土・祝）午後1時～4時

講 師：鉄芸（日本刀文化普及団体）

刀剣相談会

日 時：10月5日（土）午前10時～正午 午後1時～3時

講 師：齋藤慎一氏（日本美術刀剣保存協会静岡県支部役員）



刀 銘「助宗」（室町時代）

第 80 回企画展 「市民画廊「すばる」と美術家たち」展
開催期間 令和元年 12 月 7 日(土)～令和 2 年 1 月 26 日(日)

昭和 11(1936)年、島田市本通に開業した「温知洞」画廊は、島田における教育・文化芸術発表・観覧の場として広く活用されてきました。市民画廊「すばる」は、「温知洞」閉業後の昭和 49(1974)年に後継的役割を担う施設に開業し、約 15 年間活動しました。

今回の展示会では、「温知洞」画廊や市民画廊「すばる」の活動を通じて、島田における文化芸術活動の一端を紹介しました。当時活躍した小川幸彦、伊藤育子、大久保覚郎、安藤節雄、山本晶司たちの作品を展示しました。

主な展示資料

資料名	制作年	所蔵者
篆刻看板「温知洞」	昭和期	個人蔵
清水真一筆「市民画廊すばる」	昭和期	個人蔵
小川幸彦 灰釉壺	年代未詳	個人蔵
山本ゆき江「やがて冬」	年代未詳	島田市博物館蔵
勝見祐介「風景画」	昭和 50 年代	個人蔵
安藤節雄「目刺」	年代未詳	個人蔵
天野音次 壺	年代未詳	個人蔵
伊藤育子「楽しい日」	昭和 56(1981)年	岡田自治会蔵
青島淑雄「鳥飼いの女」	昭和 61(1986)年	島田市博物館蔵
山本昌司「かたち」	平成 6 (1994)年	島田市博物館蔵

開館日数 36 日 観覧者数 1,102 人(31^人／日)

関連行事

講演&トークセッション「市民画廊「すばる」を取り巻く美術家たち」

講師：森下正夫氏（静岡県水彩画協会顧問）

坂巻隆一（島田市博物館学芸員）

日時：12 月 21 日（土）午後 1 時 30 分～ 3 時

第 81 回企画展 「東海道スイーツ－食と娯楽の旅道中－」展

開催期間 令和 2 年 2 月 8 日(土)～3 月 22 日(日)

江戸時代、旅する人々に各宿場の名物が親しまれました。それらの名物は浮世絵や旅行案内の出版物によって広く知られるようになり、明治期以降、鉄道の発達と共に遠くへ持ち帰ることのできるお土産が登場し、現在では「スイーツ」という言葉の広がりと共に、かつての名物・土産は多様化しています。

今回の展示会では、江戸時代の旅行案内、浮世絵、名物復元サンプル、菓子の木型などを展示しました。

主な展示資料

資料名	年代	所蔵者
大日本細見道中記	嘉永 4 (1851) 年	島田市博物館蔵
歌川芳虎「東海道名所図会」	元治元 (1864) 年	島田市博物館蔵
追分羊羹 (東海道名物復元サンプル)		藤枝市郷土博物館蔵
うさぎ餅版木	明治期	個人蔵
安部川餅 (東海道名物復元サンプル)		藤枝市郷土博物館蔵
飴餅と子育て飴 (東海道名物復元サンプル)		藤枝市郷土博物館蔵
島田のこまんじゅう (東海道名物復元サンプル)		藤枝市郷土博物館蔵
歌川広重「東海道 丸子」	江戸時代	島田市博物館蔵
木型「雛人形」	江戸時代	個人蔵

開館日数 38 日 観覧者数 4,429 人(117 人/日)

関連行事

ギャラリートーク

講師：岡村龍男 (島田市博物館学芸員)

日時：2月8日(土)・2月23日(日・祝)

午前11時～11時30分・午後2時～2時30分

ワークショップ「和菓子スイーツデコ」

日時：2月23日(日・祝) 午前10時～11時

和菓子バル

日時：2月23日(日・祝) 午前9時30分～午後3時

会場：川越し街道 (島田宿大井川川越遺跡)

スイーツの歴史講演会「江戸時代の東海道スイーツを巡る元祖・本家争い」

講師：岡村龍男 (島田市博物館学芸員)

日時：3月1日(日) 午後1時30分～3時

◎博物館分館

収蔵品展「海野光弘 薫～風光る～」

開催期間 平成 31 年 4 月 6 日(土) ～ 令和元年 6 月 9 日(日)

海野光弘没後 40 年となる平成 31 年度（令和元年度）の年間テーマは「人生の詩」。第 1 弾は「薫」をキーワードに、静岡市（静岡県）、鬼無里（長野県）、遠野（岩手県）などの景観を題材にした作品と共に、中学・高校時代の作品も展示しました。

主な展示資料

展示会場：海野光弘版画記念館

資料名	種 類	制作年	備 考
孫と老人	木版画	1952 年	額 装
富士川	木版画	1955 年	額 装
徳願寺山風景	木版画	1955 年	額 装
蛙と遠景	木版画	1957 年	額 装
川坂屋（日坂）	木版画	1973 年	額 装
杏若葉の道	木版画	1973 年	額 装
軒わかば	木版画	1971 年	額 装
霧雨の遠野	木版画	1977 年	額 装

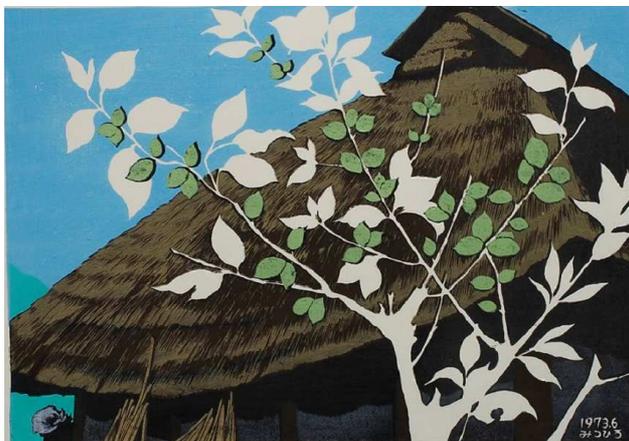
開館日数 57 日 観覧者数 3,275 人(57 人/日)

関連行事

ギャラリートーク

講 師：朝比奈太郎（島田市博物館主任学芸員）

日 時：4 月 13 日(土)・5 月 11 日(土)午後 1 時 30 分～2 時



海野光弘「杏若葉の里」(1973 年)

収蔵品展「海野光弘 青嵐～山里の出会い～」
開催期間 令和元年6月15日(土)～8月25日(日)

「海野光弘 人生の詩」第2弾は「青嵐」をキーワードとして、忍野(山梨県)、宇津谷(静岡県)、五箇相倉(富山県)、会津大内(福島県)、七ヶ宿(宮城県)などの景観を題材にした作品を中心に、20歳代で制作した作品も展示しました。

主な展示資料

展示会場：海野光弘版画記念館

資料名	種類	制作年	備考
漁師の子	木版画	1959年	額装
壁	木版画	1963年	額装
山ふところ	木版画	1966年	額装
葉音	木版画	1969年	額装
家路	木版画	1970年	額装
縁話	木版画	1971年	額装
道づれ	木版画	1973年	額装

開館日数 62日 観覧者数 1,918人(31人/日)

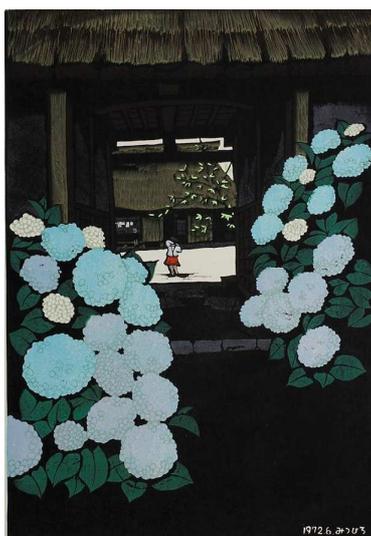
関連行事

ギャラリートーク

講師：朝比奈太郎(島田市博物館主任学芸員)

日時：6月22日(土)・7月13日(土)・8月17日(土)

午後1時30分～2時



海野光弘「あじさいの門」(1972年)

収蔵品展「海野光弘 彩～花野に誘われて～」
開催期間 令和元年 8 月 31 日(土)～11 月 4 日(月・祝)

「海野光弘 人生の詩」第 3 弾は「彩」をキーワードとして、与那国島(沖縄県)、白石平野(佐賀県)、田麦俣(山形県)などの景観を題材にした作品を中心に、30 歳代になり、日本各地の古民家のある風景を訪ね歩いて制作した作品を展示しました。

主な展示資料

展示会場：海野光弘版画記念館

資料名	種類	制作年	備考
五箇のおにゆり	木版画	1970 年	額装
秋露	木版画	1971 年	額装
秋林	木版画	1972 年	額装
星砂に願いを	木版画	1974 年	額装
縁通し	木版画	1975 年	額装
陣風	木版画	1976 年	額装
語り草の谷	木版画	1977 年	額装
近い秋	木版画	1976 年	額装

開館日数 56 日 観覧者数 2,029 人(36^人／日)

関連行事

ギャラリートーク

講師：朝比奈太郎(島田市博物館主任学芸員)

日時：9 月 21 日(土)・10 月 12 日(土) 午後 1 時 30 分～2 時



海野光弘「流れ雲」(1975 年)

「国際陶芸フェスティバル～集え 火のつわものたち」
 開催期間 令和元年 10 月 12 日(土) ～ 11 月 24 日(日)

令和元年 11 月に島田市川根町笹間地区で行われた第 5 回ささま国際陶芸祭に
 合わせて、これまで国際陶芸祭に参加した招待作家から、ささま国際陶芸芸術祭
 実行委員会に寄贈された作品のうち、約 25 点を展示しました。

主な展示資料

展示会場：日本家屋

作家名	国名	所蔵者
アントネラ・シマッティ	イタリア	ささま国際陶芸祭実行委員会蔵
アーノルド・アンネン	スイス	ささま国際陶芸祭実行委員会蔵
ニーナ・ホール	デンマーク	ささま国際陶芸祭実行委員会蔵
ラファエル・ペレソス	スペイン	ささま国際陶芸祭実行委員会蔵
道川省三	日本	ささま国際陶芸祭実行委員会蔵

開館日数 44 日 観覧者数 2,209 人(50^人／日)

関連行事

展示作品の紹介・トーク

講師：サラ・フェリン氏（陶芸家）・道川省三氏（陶芸家）

日時：10 月 20 日(日) 午後 1 時～ 2 時

陶芸教室

講師：かのうたかお氏（陶芸家）

日時：10 月 20 日(日) 午後 1 時 30 分～ 2 時

小枝アート

講師：入屋稔氏

日時：10 月 27 日(日) 午後 1 時 30 分～ 2 時

笹間神楽

出演：笹間神楽保存会

日時：11 月 10 日(日) 午後 1 時～ 1 時 30 分

竹細工体験

講師：根岸久氏

日時：11 月 10 日(日) 午後 1 時 30 分～ 2 時

収蔵品展 「海野光弘 凧～山眠る路～」

開催期間 令和元年 11月16日(土)～令和2年1月19日(日)

「海野光弘 人生の詩」第4弾は「凧」をキーワードとして、外泊(愛媛県)、白馬(長野県)、阿仁・根子(秋田県)、坊津(鹿児島県)などの景観を題材にした作品を中心に展示しました。

主な展示資料

展示会場：海野光弘版画記念館

資料名	種類	制作年	備考
残雪	木版画	1971年	額装
牧草の岬	木版画	1972年	額装
はっぼうからの道	木版画	1976年	額装
壁影	木版画	1977年	額装
泊船	木版画	1977年	額装
雪林	木版画	1978年	額装
窓格子	木版画	1978年	額装
いらか町	木版画	1979年	額装

開館日数 48日 観覧者数 1,747人(36人/日)

関連行事

ギャラリートーク

講師：朝比奈太郎(島田市博物館主任学芸員)

日時：11月30日(土)・12月14日(土)・1月11日(土)

午後1時30分～2時



海野光弘「雪原」(1978年)

収蔵品展 「海野光弘 四季～あなたが選んだ名品集～」

開催期間 令和2年1月25日(土)～3月29日(日)

「海野光弘 人生の詩」第5弾は、来館者を対象に約2年間実施したアンケートを集計し、人気が高かった作品を中心に展示しました。

主な展示資料

展示会場：海野光弘版画記念館

作 品	種 類	制作年	備 考
樹間	木版画	1969年	額 装
窓辺	木版画	1970年	額 装
路わかば	木版画	1971年	額 装
花畑の岬	木版画	1972年	額 装
水路	木版画	1973年	額 装
残雪の鬼無里	木版画	1974年	額 装
雪林	木版画	1978年	額 装

開館日数 60日 観覧者数 4,247人(71人/日)

関連行事

ギャラリートーク

講 師：朝比奈太郎（島田市博物館主任学芸員）

日 時：2月1日(土)・2月22日(土)・3月28日(土)

午後1時30分～2時



海野光弘「花畑の岬」(1972年)

3 教育普及活動

博物館では教育普及活動の一環として、体験学習、博物館講座、博物館実習及び勤労体験学習を行い、一般入館者を対象に各種イベントを開催しました。

(1) 体験学習

①機織り

大井川川越遺跡の札場を使って機織体験を実施しました。この機織体験は横糸に古い布を使うもので「裂き織り」とよばれ、本物の機織機を使って体験を行いました。1回に30cm程度の花瓶敷などを織ることができ、大変人気のある体験学習です。

実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	12	11	12	13	10	11	12	14	7	14	10	5	131
人数	108	104	96	122	81	107	81	107	78	108	84	44	1,120

②夏休み体験学習・しまはくワークショップ

博物館に親しんでもらうため、小学生を対象に第2日曜日に、本館では簡単オリジナル作品などを作るワークショップを、また4・6・7・9・12・2月の第3日曜日に、分館では昔の道具を使ったいろいろな体験を実施しました。

実施状況

	体験学習名	実施回数	参加者数(人)		合計(人)
			小学生	大人	
1	みんなで楽しく機織り	7月2回	26	—	26
2	志戸呂焼	8月2回	50	28	78
3	親子でかんたん染物	8月2回	40	23	63
4	陶芸教室 ランプシェードを作ろう	8月1回	16	1	17
5	かんたんはりつけ版画 (コラグラフ)	8月1回	12	—	12
6	ねんどでつくる お菓子の家の貯金箱	8月1回	42	—	42
7	かんたん型染め体験	8月1回	3	6	9
8	しまはくワークショップ	4月～2月 計10回	252 (幼稚園・保育園含む)	6	258
9	ちょっと昔のおもしろ体験	4月～2月 計6回	92	11	103
合 計			533	75	608



夏休み体験学習「機織り」



しまはくワークショップ「紙すき」



しまはくワークショップ「湯たんぽ体験」

(2) 博物館講座

平成31年度(令和元年度)は、博物館講座として「版画家 海野光弘の世界」、「今川氏の歴史講座」各3回、「島田鍛冶と刀剣講座」5回をそれぞれ実施しました。

博物館講座開催状況

①版画家 海野光弘の世界 講師：朝比奈太郎（島田市博物館主任学芸員）
実施状況

開催日	講座テーマ	参加人数(人)
4月21日(日)	版画家 海野光弘の軌跡	7
6月16日(日)	宇津谷との出逢い	4
8月11日(日)	宇津谷・柴屋寺見学	13
合 計		24

②島田鍛冶と刀剣講座 講師：萩光明氏（美術刀剣研磨師）

実施状況

開催日	講座テーマ	参加人数(人)
5月19日(日)	さまざまな刀の種類ー短刀から刀・槍までー	9
7月21日(日)	時代による刀の姿	11
9月15日(日)	日本刀の美「刃紋」ーシンプルなものから派手なものまでー	8
11月17日(日)	日本刀の真髓「地鉄」	12
1月19日(日)	島田鍛冶と刀剣（講義と鑑賞）	16
合 計		56

③今川氏の歴史講座 講師：岡村龍男（島田市博物館学芸員）

実施状況

開催日	講座テーマ	参加人数(人)
10月19日(日)	今川氏親・寿桂尼	28
12月14日(日)	今川義元	27
2月15日(水)	今川氏真	23
合 計		78

(3) 博物館実習

学芸員実習

将来、学芸員を目指す大学生に対し博物館実習を実施しました。

博物館の現状と課題に関する議論にはじまり、収蔵資料の整理などを行いながら展示を作成、報道発表も行ないました。

実施状況

期 間：令和元年8月1日(木)～8月8日(木)のうち6日間

参加者：実習生3人（青山学院大学、京都外国語大学、千葉大学）

実習内容

日 程	実習内容
8月1日(木)	博物館及び川越遺跡見学、博物館の現状と課題（講義・発表）
8月2日(金)	襖下張り調査（講義・実習）・カメラの取り扱い（講義・実習）
8月3日(土)	ワークショップ補助・襖下張り調査
8月6日(火)	襖下張り調査まとめ・調査報告パネルキャプション作成
8月7日(水)	博物館の広報について（講義）・プレスリリース作成・展示準備
8月8日(木)	展示作業、報道対応

(4) 勤労体験学習

市内中学校の勤労体験学習の一環として、博物館での体験学習を希望した生徒を対象に実施しました。

実施状況

実習期間	学校名・学年	人数	従事内容
5月14日(火) ～5月16日(木)	島田市立島田第二中学校2年生	2人	博物館所蔵品資料整理、古文書整理、考古資料整理等
	島田市立六合中学校2年生	2人	
	島田市立初倉中学校2年生	2人	
5月29日(火) ～5月30日(水)	島田市立初倉中学校2年生	2人	
11月20日(水) ～11月22日(金)	島田市立島田第一中学校2年生	3人	
	島田市立金谷中学校2年生	2人	

(5) イベント

博物館では、こどもの日、県民の日、文化の日、富士山の日を無料開放しイベントを実施しました。

実施状況

名称	場所	期日	参加者数	内容
こどもの日の集い (終日観覧無料)	博物館及び分館	5月5日	2,175	本館：スタンプラリー、スーパーボールすくい 分館：折り紙かぶと作り他
県民の日協賛 (終日観覧無料)	博物館・川越街道及び分館	8月18日	835	本館：こども茶会、ふれあいミュージアムコンサート、水に浮かぶ舟他 分館：折り紙月うさぎ作り他 17時～ナイトミュージアム
文化財ウィーク協賛 (終日観覧無料)	博物館及び分館	11月3日	339	
富士山の日協力事業 (終日観覧無料)	博物館・川越街道及び分館	2月23日	5,469	本館：和菓子焼印スタンプラリー他 分館：和紅茶入れ方教室他 川越街道：和菓子バル
合計		4回	8,818	